

多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価方法

1 評価方法について

多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、4つの基本目標と2つの横断的な目標ごとに、数値目標や具体的な事業についての重要業績評価指標(KPI)を設定している。今回、本検討委員会では、個別の事業についての評価を行うのではなく、基本目標全体についての評価を行うものとする。

なお、個別事業については、全体を俯瞰して特に意見があるものについて、委員会からの意見として市へ伝えるものとする。

2 基本目標の評価基準等

各基本目標で掲げた数値目標及び重要業績評価指標(KPI)の現状値、実績値、目標値を勘案し、下記の基準により評価を行う。

※目標値に対する評価の考え方

目標値に対し、1年目は20%、2年目は40%、3年目は60%、4年目は80%、5年目(令和6年度)は100%にそれぞれ達しているかどうかで判断する。

(1) 基準表(増加の場合)

	評価基準	委員会の評価
A	令和3年度の実績が目標値の40%を超えている場合	目標値の達成に向けて、着実に進んでいる。
B	令和3年度の実績が目標値の40%に対して、達成度が60%以上～100%未満の場合	目標値の達成に向けて、概ね進んでいる。
C	令和3年度の実績が目標値の40%に対して、達成度が60%未満の場合	目標値の達成に向けて、改善や工夫が必要と思われる。

(減少を留める場合)基本目標2①、基本目標3①が該当

	評価基準	委員会の評価
A	令和3年度の実績が目標値(絶対値換算)の40%未満の場合	目標値の達成に向けて、着実に進んでいる。
B	令和3年度の実績が目標値(絶対値換算)の40%~66.6%の場合	目標値の達成に向けて、概ね進んでいる。
C	令和3年度の実績が目標値(絶対値換算)の66.6%以上の場合	目標値の達成に向けて、改善や工夫が必要と思われる。

上記 C 欄の 66.6%算出式

$40\% \div 60\% = 66.6\%$ より

(2)その他

上記「委員会の評価」の他、評価の際の委員意見をまとめ、委員会意見として評価シートに記載するものとする。